

事業者に対するインタビュー結果

ヒアリング団体

- A企業：機器製造メーカー
- B企業：建設業
- C企業：エネルギー業
- D企業：素材製造メーカー
- E企業：化学製品メーカー

(1) 地域コミュニティのイメージ

①地域コミュニティ組織との関わり

A企業

地域というよりは大牟田市全体へしていることが多い。

B企業

地域とのかかわりはあまりない。自主的な活動として公園清掃・学校への支援を行っている。

C企業

組織としてより、個人的なつながりで協力依頼などをいただく。年2回の草刈りは、大きな企業を中心とした周辺企業が集まって実施している。

D企業

地域の校区と意見交換会を毎年開催している。また、毎年2回清掃活動を近隣校区と一緒にしている。

E企業

庁内公民館や介護事業所と連携して、清掃活動をしている。清掃は年2回（6・10月）。また、小学校とも何か（まずは清掃活動）しようと話している。

(2) どんな形だったらかわりたいか？

①地域コミュニティ組織（町内公民館・自治会・まちづくり協議会）と連携・協力は可能ですか？

②具体的にどのような連携・協力が可能ですか？

A企業

地域貢献という意味合いでは検討できるが、本業があることなので、その範囲でなら可能。地域清掃とかは月2回水曜日に行っている。自発的というのは難しいが、提案いただければ検討する。

B企業

小学校単位となるが、学校、PTA や企業も入ってイベントをすることは可能だと思う。協力も可能。地域のためになること、ボランティア、川の清掃、草刈りを大人と子どもが一緒に行うことがあれば協力できる。規模が大きくなると意見が合わず大変なので、小規模から徐々に始めたら良い。

C企業

社員の勤務の調整等はあるが、地域へのご恩返しは必要と思っている。地域との連携・協力も地域からの要請があれば検討する。子ども会とかで集まりなどあれば、綿菓子を出すなどしても良い。

D企業

協力できるところはやっていきたい。見守り隊は、今後の会社の体制により絶対むりということではないが、地域で体制ができていないことを会社に求められるのは難しい。通学路になっている会社の前が危ないという話ならば、立つことを今後考えていくべきかもしれない。

各種イベントの際には、人的な協力は出来ないが、寄付を行っている。人の派遣は難しい。今後考えていく必要があるのかもしれないが線引きをしておく必要があると思っている。基本的には関連校区内と線引きしている。

E企業

企業として、地域貢献は必要だと考えている。また、地域がしっかりしてくれていると、企業としても色々な対応で話がしやすい。

(3) その他（地域コミュニティ活動等に関する意見）

B企業

地域コミュニティの在り方というよりも、今迄の流れを踏襲しないような一つの良い事例が必要。高齢者だけのコミュニティには若い人は集まらない。コミュニティには、男女問わず幅広い年齢層、多種多様な方々が参加しないとちゃんとしたコミュニティにはならない。

公民館や校区で括らずに、もっと広範囲で目的を一つにしたコミュニティもあって良いのでは。若者は SNS 上のコミュニティが入りやすい。

C企業

お客様への通知欄（50文字）に「市からのお知らせ」を入れることができる。また、社員への町内公民館等へ加入する呼びかけなど、朝礼の際にできないことはない。

環境省が進めているクーリングシェルターの取り組みを町内公民館

で行うといったこともできるのではないか。中心市街地には帝京大学の学生が多く住んでいる。大学を通じての声かけなどできるのではないか。

D企業

社員への加入の呼びかけは、なぜ入る必要があるのかの説明材料が必要。ただ、入ってくださいとは言えない。入ることによって、市がどのようにしていきたいかのビジョンが無いと難しい。